

No.2433 岩湧山

2014年9月28日(日)

参加者：片山夫妻、堀亀夫妻、佐々木（L）、甲田（記）

9：18紀見峠駅着、片山夫妻も同じ電車でした。佐々木さん、堀亀夫妻は1本早い電車だったようで改札の外で待っておられました。

トイレ等を済ませ9：30に出発です。線路を渡り根古谷に沿ってコンクリートで舗装された道を暫くは行きます。三合目、根古峰、五つ辻と樹林帯の中を進み、誰となくまだまだ暑いな一とか、もう秋の風やな一とか言いながら頂上を目指します。途中展望台がありましたが、植林された杉が育ち今では眺望はありません。岩湧寺からの急坂の道と合流する所が東峰です。頂上の西峰との峠にトイレができています。ここからはススキも拡がりほどなく山頂です。

昼食後、下りは岩湧寺からの急坂の道を取り四季彩館へ。小休止の傍らちょうど見頃の秋海棠の大群落を見てまわり神納のバス停へ15：00過ぎに到着。次のバスが16：30なので待っていると単車に草刈機を載せた地元のおっちゃんが「あんたらどこまで行くんや？」我々「大阪」「それならもうちょっと先に行ったら30分に1本出ているバス停があるで。」と教えてくれました。

そこに向けて歩いていると、またそのおっちゃんが来て次のバスは16：19という。その人はわざわざバス停まで時間を見に行ってくれたのでした。ありがとうございました。



岩湧山山頂でのこと。カヤとススキは同じもの？という話題があり、それで調べてみました。

カヤとは屋根材や飼料などに利用した草本の総称。

ススキはイネ科ススキ属の植物。

つまりススキをカヤと言うのは良いがカヤと言えばススキだけでは無いということになります。

さらに、ススキによく似たものにオギがあることをご存知でしたか？オギを見て、たいていの人はススキと思うそうですがその違いは水辺を好む、株元の生え方、穂

の形にあるそうです。またカリヤスというのもあってこれは染色に使うそうです。近江カリヤス、伊吹カリヤスは良く知られているようです。同じ染色でも黄八丈に使うのはまた別のカリヤスだそうでややこしい事です。